

# ケニア国PHBH系コンパウンドによる生分解性レジ袋普及促進事業 株式会社カネカ

## ケニア国の開発ニーズ

- 2017年8月より「Plastic Bag Ban法」に基づきレジ袋の使用が禁止となった。
- 同法の成果として、レジ袋による環境問題が緩和された反面、消費者の利便性の低下や、代替品として導入された不織布袋（石油製）による環境問題といった新たな課題が生じている。さらに、同国の基幹産業のひとつである樹脂成形産業に大きな負の影響が生じている。

## 普及促進事業の内容

- フランスやイタリア等の事例に倣い、石油製プラスチック袋の禁止措置を導入において、生分解性・バイオマス原料による袋への転換を紹介
- 上記に向けて、NEMA(国家環境管理局)に対し、セミナーを開催し、生分解性素材の紹介、同素材を用いたケニア国内でのレジ袋製造に関する技術移転等を実施
- ジョモケニヤッタ農業技術大学との生分解試験を実施

## 提案企業の技術・製品



カネカ製PHBH\*系コンパウンドから製造する生分解性の袋

## 事業のポイント

- ・高い生分解性製品により、ケニアの環境政策、利便性改善および経済政策の実現を目指す。
- ・高機能素材による技術展開と、制度への働きかけとの一体となった活動の実施。

## ケニア国側に期待される成果

高い生分解性を有し、かつ、100%バイオマス原料から製造される当社製PHBH系レジ袋を同国に普及させることで、ケニア国において、以下の便益が期待される。

- 消費者の利便性の回復
- 最終処分場のプラスチックごみ問題及び不法投棄されたプラスチックによる排水路閉塞・洪水頻発等の環境問題の緩和
- 同国の基幹産業のひとつである樹脂成形産業の振興

## 日本企業側に期待される成果

### 現状

PHBHは石油製プラスチックよりもコストが高く、また、その性能・便益が十分に認知されていないため、大規模な普及には至っていない。

### 今後

ケニア国内でPHBH系レジ袋の普及をきっかけに、東アフリカ諸国への広がりやレジ袋以外の用途への拡大等によりPHBH生産量が増えることが期待される。生産量が拡大することで、スケールメリットによりコスト削減が図られ、さらに需要が拡大すると期待される。

※ PHBH = 3-ヒドロキシブタン酸・3-ヒドロキシヘキサン酸重縮合物